

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 多治見北高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月5日(水) 14:00～16:30
- 3 開催場所 岐阜県立多治見北高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	宮嶋 浩	バロー文化ホール館長
委員	長壁 和恵	会社員 元PTA役員
	加藤 恵子	消費生活協同組合理事 元PTA役員
	田口 尚之	愛知教育大学教授
	水野 知久	東濃子ども相談センター所長
	森 教恵	PTA副会長
学校側	白石 秀史	校長
	山下 サツキ	事務部長
	西田 智子	教頭
	稲垣 真太郎	教務主任
	加藤 大	生徒指導主事
	上田 泰彦	進路指導主事
- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 校長挨拶
 - (2) 出席者自己紹介、日程説明
 - (3) 授業見学・校内視察
 - (4) 学校運営協議会の設立趣旨説明
 - (5) 会長、副会長の選出
 - (6) 第4次岐阜県教育振興基本計画について
 - (7) 今年度の学校運営について
 - (8) 今年度の取組について
 - (9) スクールミッションについて
 - (10) 意見交換及び協議

意見1：多治見北高校は勉強だけでなく何事にも一生懸命取り組む生徒が多いという印象がある。学校での部活動が文化面にしてもスポーツ面にしても地域の活動のベースになっているので、教職員の負担や少子化の問題などあるがこれからも活動が継続できるとよい。部活動の加入率はどのくらいで、指導はどうなっているのか。

⇒加入率は学年によるが85～90%である。指導は基本的に教職員が行なっている。顧問で分担を決め当番制にしたり、外部の指導者を頼んだりしている。部活動の指導をしたくて教員になったものもおり、一概に負担となっていると言えない面もある。

意見2：今年度体育館改修が予定されているとのことだったが、体育館の借用はできているのか。

⇒市内の小中学校の体育館を借りることができるようにしてもらい、通常の活動の4分の3程度は確保できた。近くの高校との合同練習なども計画している。

意見3：中学校では部活動の外部への移行が進んでいるが高等学校はどうか。

⇒具体的な大きな動きはない。

意見4：主体的な進路選択ができるように進路指導を行なうという話があったが、なかなか自分の進路を見つけられない生徒もいる。どのような方法でアプローチしていくのか。

⇒生徒の視野を広げるようなアプローチをしている。希望者を募って乗鞍やモンキーパークなどのフィールドワークに出かけたり、学校でいろいろな講座を開いたりしている。タブレット端末等で見られるようにさまざまな情報を案内して、自分の「好き」がどこにあるのかに気づいてもらえるような機会を作っている。

意見5：民間企業の主催でいろいろな大学のいろいろな講座を体験できるようなものがあるので、そうしたツールの活用を検討するのも方法である。また、大学の中には入学してから自分の専攻を決めていくようなところもあるので、そのようなところに進学して自分の方向性を決めていくこともできる。

意見6：大学入試の方法が大きく変わってきている。これまでの学科試験による選抜だけでなく総合型選抜による自分の得意を生かした進学が向いている生徒もいると思う。

意見7：学校は人作りの場である。社会に出た時に自己判断ができるように、生徒が自分たちで考えて行事を作ったり運営したりする雰囲気大切に、考えられる生徒を育ててほしい。

意見8：遅刻する生徒の数がコロナ後大きく増えており、指導する教職員の負担も増えているのではないかと。きつく叱るような指導をしてはいけないという世の中の風潮も影響しているのではないかと。

⇒遅刻の理由は必ずしも本人のルーズさではなく、学校に行きづらい気持ちを抱えていたり身体的な事情を抱えていたりする。その生徒の事情に合わせてほっとプレイス（教育相談室）の利用を案内したり家庭と連携したりしている。

(11) 会長挨拶

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。